

# 第92回メーデー青森県中央祭典開催!!



2021  
NEWS 4  
連合青森 東青地協

昨年の第91回メーデーは、労働者の祭典メーデーから100年という節目の年であったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に関する政府の緊急宣言により、中央メーデーにおいては、参加規模を縮小し神津会長メッセージをオンラインで発信するなど、連合本部・地方連合・各地協と、これまでとない対応を余儀なくされました。

メーデー青森県中央祭典・各地協メーデーは、「安全第一で感染者を発生させない配慮が前提」とし、県内すべてのメーデーを断腸の思いで中止する判断に至り、集会開催の代替策として、①『県内地元新聞紙3社(東奥日報・デーリ東北・陸奥新報)への有料広告』②『街宣車・ホームページ(連合本部配信の映像コンテンツ)』を活用しながら広く県民へメーデーの重要性を訴え対応したところです。

しかし、未だ、県内においても新型コロナウイルス感染は収束しておらず、今年の『第92回メーデー青森県中央祭典』の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症のリスク対策を講じ、規模縮小・時間短縮を図ったうえで開催することとなりましたので、以下内容でお知らせさせていただきます。

1. 日時 2021年4月29日(木) 10時25分開会(9時40分受付開始)
2. 会場 青森市「青森市民ホール(リンクモア平安閣市民ホール)」  
(住所: 青森市柳川1丁目2-14 / TEL 017-722-3770)
3. 主催 連合青森・東青地域協議会
4. 規模 東青地協加盟単組組合員を主体に**500名**規模といたします。
5. 来賓 青森県、青森市、立憲民主党、民社協会、連合青森推薦の各級議員、福祉事業団体および県退連・東青地域退連
6. その他 今年のアトラクション(抽選会)は中止となります。  
構成組織単位で座席を指定させていただきます。

発行日: 2021.3.25  
編集・発行: 東青地域協議会  
編集人: 大澤 祥宏



第92回メーデーポスター

## 【メーデーの始まり】

「労働者の日」としてのメーデーは1886年5月1日に米国の労働者が、シカゴを中心に8時間労働制を要求し統一ストライキを行ったのが起源とされています。1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「8時間は労働に、8時間は睡眠に、そして8時間は自由な時間に」を目標に行われました。

日本では1920年5月2日に労働団体として初めて第1回メーデーを、東京の上野公園で挙げて、およそ1万人の労働者が「8時間労働制の実施」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えました。その翌年からメーデーの開催日は5月1日になり、労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立などを訴えながら、開催地や参加者も増えていきました。

※連合は2001年以降、5月1日の前後1週間をメーデーウィークとしています。

## 東青地域退職者連合「青森市へ要請書手交!!」

東青地域退職者連合(会長/齋藤千代久)は、東青地協(佐藤議長)・推薦市議団と共に3月24日に青森市 小野寺市長に対し、「健康増進事業の推進・認知症関連の施策の推進・高齢者が安心して暮らせる社会」に向けた要請書を手交。小野寺市長からは、「青森市としても真摯に受け止め、今後の市政発展に努める」との力強い言葉を頂戴した。

今後も、東青地域退職者連合は、高齢者の「年金・医療・介護」などに対する将来不安を払拭するために、継続的に推薦市議と連携を深めて市への要請行動を行っていく事としており、東青地協も退職者連合と連携を深め対応していきます。



要請後に、小野寺市長と懇談を行った、地域退連・齋藤会長と宮崎事務局長、そして、事前打ち合わせよりご協力いただいた東青地協推薦市議(秋村市議・藤田市議・蛭名市議・奈良市議・竹山市議)の皆さん。